



通所支援事業の ひとコマ

通所支援事業では、音楽活動・園芸活動・スヌーズレン・ムーブメント(ハンモックやトランポリン)等、さまざまな活動を実施しています。その中でも、制作活動には熱心に取り組んでいます。皆さんにご覧いただいている(と期待している?!)ギャラリーにも、毎月展示しています。

そして…さまざまな団体が主催している絵本コンクールにも応募しています。今年は社会福祉法人日本肢体不自由児協会が主催する「肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展」へ応募しようと計画中です。利用者の皆さん1人1点応募します。すべての作品、利用者さんたちの身体の一部(指・手の側面・腕など)に絵の具をつけて形をとり、食べ物・乗り物・動物などに見立てていますが、「どこの形(身体のどこの部分)?」とわからないほどです。「びわ」「くるま」「ジンベイサメ」「うめ」「きゅうり」など、本当にさまざまな作品が仕上がりました。

画伯たち?! の力作は、すでに通所出入口でも展示しています。9月の中旬には応募のため、東京に進出しますが、2月には戻ってきます。もちろん、戻ってきてからも、三重病院内で美術展を開催したいと思います。その際は、ギャラリー周辺だけではなく、外来あたりにも進出したいと考えていますので、お楽しみに〜♪

さまざまな素敵な作品たち。果たして入賞できるのか?! 今からドキドキ・ワクワクです!! (主任児童指導員 丸澤 由美子)



やまばしギャラリー 情報コーナー information



8月のギャラリー展示は、「あさがお」でした。

患者さんとスタッフが一緒に習字紙を折ったり丸めたりして、好きな色の絵の具を付けて、染め紙を作りました。開いて

乾かした染め紙を、今度は患者さんと一緒にちぎってあさがおの形を作り、真ん中を絞って立体的に貼り付けました。包装紙で葉を作って貼り、モールで蔓を表現しました。カラフルで個性豊かなあさがおを見ながら、盛夏を感じていただけましたでしょうか。9月のギャラリー展示は「ふくろう」です。楽しみにしててください。(児童指導員 笠松 陽子)

5病棟の生活のひとコマ 61

5病棟プレイルームで「7月誕生日会」「8月誕生日会」を行いました。6月までは感染対策のため延期や部屋での実施でしたが、やっとプレイルームに集まって行うことができました。感染対策のため、家族やボランティアの参加はなしにし、時間も短くして行いました。窓を開けて換気をしながら、扇風機で空気の循環や暑さ対策を行い、患者さん同士の間隔を空けて行いました。久しぶりのプレイルームでの誕生日会に、患者様の笑顔が多くみられました。みんなで一緒におやつのいちごロールケーキ(7月)、抹茶ババロリア(8月)を味わいました。今後も感染対策をしながら活動していきます。

(児童指導員 笠松 陽子)



医療安全便り 令和2年 Vol.14 リハビリテーション科

ロコモティブシンドロームから転倒を防ぎましょう

骨や関節、筋肉などの運動器の衰えが原因で「立つ」、「歩く」といった機能が衰えている状態のことです。

最近では高齢者だけではなく中高年や子どもにもみられるようになってきました。

転倒を防ぐためにもう一度、自宅の整理整頓を見直しましょう。

整理整頓の一例として

動線上に物を置かない



玄関、廊下、ドア付近、階段、ベランダには、倒れやすい家具や滑りやすい物、ぶつかる物をおかないようにしましょう

リハビリテーション科
主任作業療法士 西田 聖

